豊栄広報

第74号

発行所
新潟県北蒲原郡
豊栄町役場

印刷所
下越出版社
新発田市本町2電2234

都市計画下水道事業

白新町を中心に抜本的な下水対策

四十三年度には完了

葛塚駅道および中央線を中心とする白新町一帯は、地盤が低い上に排水施設が完備されていないために、ちょっとした雨が降るとすぐに水があふれています。町ではその都度ポンプによる排水を行なっていますが、最近住家がたちならび、新しい市街地ができつつある現状から、抜本的な下水対策がのぞまれていました。

町では、このような現状を緩和するために、早くから検討をすすめておりましたが、このほど都市計画事業のひとつとして都市下水路を設けることになり、建設省の認可を得て近く工事に着手することになりました。

工事の内容は、道路の地下二㍍程度のところにコンクリートでできたU字にふたをした型の管径一・一〇㍍から二㍍までの暗渠を埋設し現在ある下水溝をこの下水路に接続させます。この下水路の幹線は、樋ノ内から下大口までの一、四七〇㍍と常盤町から白新町までの四一〇㍍の合計延長一、八八〇㍍です。

排水区域は、白新町、中ノ曾根、常盤町、樋ノ内屋敷付の全部と、他門から下大口にいたる区間の一部で、面積は五五・三㌶となっています。

当初の計画では、ポンプ排水の予定でしたが、建設省の指導によってこれを変更し、自然排水式とし、樋ノ内に吐口を設けて新井郷川へおとします。

事業は、今年度に着手して昭和四十三年度までの四カ年計画で実施します。事業費は五、一六〇万円の計画です。

このほか将来、人口がさらにふえた場合には、嘉山地区にも実施し、汚水処理場を建設するという計画もあり、今回の事業が完成すると市街地の下水事情も一変して、住みよいまちとなることでしょう。

（写真　白新町の一部、点線の部分に下水路を布設）

無料相談
心配ごとは、毎月市日の心配ごと相談所へ

住宅地の開発をめざす

中ノ曾根区画整理認可

葛塚中ノ曾根の土地区画整理事業が認可になり、今年度中にこの工事がはじめられることになりました。

こんどの区画整理を行なう区域は、他門の北側にあたり白新町と白新線の鉄道線路に囲まれている面積一三・八㌶です。

六月二十六日から換地処分の公告があるまでの間に区域内で次のような建築行為などをすると罰せられ、あるいは移転や除却を命ぜられることになりますからご注意ください。

▽　土地の形質を変更すること

▽　建築物その他工作物の新築、改築もしくは増築をすること

▽　五トン以上の物件を設置したり、もしくは堆積したりすること。

事業は、今年度から昭和四十三年度までの四カ年間で実施し、総事業費は、四、六七〇万円の計画です。

"役場だより"

▽回覧の発行日がきまる

役場からの回覧は、必要の都度不定期に発行されていますが、これを改めて定期的に発行することになりました。毎月一日、十一日二十一日がこの発行日です。回覧をやめて全戸に配付するようにしたらよいという声がありますがいろいろな準備の都合で今回は回覧を定期的に出すことにし、近い将来、全世帯に配る計画です。

▼好評な職場体操

最近、職場のレクリエーションや健康管理のためのいろいろな催しなどが話題となっていますが、役場でも七月一日から職員全員のラジオ体操をはじめました。

毎日午後三時になると聞きなれたラジオ体操のメロデーが流れます。窓口にこられた町の人たちもいっしょになって体操をします。わずか三分間程度の短かい時間ですが、一日中机にむかっている職員にはなかなか好評です。

▽迷い子の文鳥

七月十六日ひるすぎ、役場三階にある議会事務局の部屋へ一羽の文鳥がまぎれこみ事務局長の小林正二郎さんの肩にとまって動きません。人みしりをせずおそらくどこかの家庭で飼われていたもののようで飼い主があらわれるまで、折笠用務員さんが役場で世話をしています。

▼長年勤続の自治会長表彰

（七月九日）

斎藤武雄（上黒山三区）丸山新作（新鼻）外山藤一郎（高森）渡辺松三（森下）玉木武雄（上堀田）小林巳之作（下大口）

町の人口

人口	男	15,810人
	女	16,849人
	計	32,659人
世帯数		5,709世帯
出生		35人
死亡		20人
転入		60人
転出		130人

――6月末現在――